



岩手で震度6強

7道県で131人けが

M 6.8 31戸に一部損壊



ガラスが割れた自動車販売店を片付ける人たち
=24日午前6時43分、岩手県軽米町

している。また盛岡市内で一一八六ガルの最大加速度を観測していたことが防災科学技術研究所の分析で分かった。

負傷者は岩手で六十六人、青森四十九人、宮城十一人、秋田二人、山形、千葉と北海道で各一人。ガラスの破片や転倒などでけがをした人が多い。

岩手県北上市の女性(41)は階段を踏み外し左足小指を骨折。同市の男児(5)は落ちてきたポットの熱湯を浴び背中にも重いやけど。

東北電力によると青森、岩手、宮城、福島で計八千六百一十一戸が停電、約六時間後までに復旧した。宮城県の女川原発と青森県の東通原発は異常なかった。岩手県川井村で百十九世帯が断水した。

岩手、青森などで計四件の火災通報があり、青森県八戸市の火事はまもなく鎮火したという。

青函トンネルでは寝台特急が一時停車したが、東北新幹線は発生時には運行を終了、影響はなかった。JR東日本は東北、秋田新幹線の仙台以北を夕方まで運転見合わせ。

在来線は岩手県を走る山田線と岩泉線が落石で始発から終日運休。東北地方の高速道路も一時通行止めとなった。

二十四日午前零時二十三分ごろ、岩手県沿岸北部を震源とする強い地震があり、同県洋野町で震度6強、青森県八戸市で震度6弱を記録、北海道から関東、新潟県まで広い範囲で揺れを観測した。六月の岩手・宮城内陸地震で震度6強を記録した宮城県栗原市では震度5強を観測。けがをした人は共同通信の正午現在のまとめで青森、岩手、宮城、秋田、山形、千葉

各県と北海道で計百三十一人に上った。警察庁によると重傷者は十六人。岩手県知事は午前零時四十五分、陸上自衛隊に災害派遣を要請。政府の調査団は午前八時すぎ、岩手県洋野町に到着、被害状況の確認を急いだ。国土交通省がヘリコプターで上空から調査したが、大規模な被害は確認されていない。警察庁集計では建物の一部損壊は計三十一戸。

気象庁によると、震源の深さは約一〇八キロ。地震の規模はマグニチュード(M)6.8と推定される。気象庁は揺れの大きかった地域は土砂災害の危険性が高まっていると警戒を呼び掛けた。午前十一時二十八分ごろ、青森、岩手両県で余震とみられる震度3の地震があった。気象庁は、震源が深く余震は低調とみているが、今後も震度4程度の可能性がある

